

新たな山をめざして

会長 小宮 修 二



京葉高校同窓会の皆様、常日頃母校の発展のために、ご尽力を戴きまして厚く御礼申し上げます。

さて、私事ですが、母校を巣立ったとき、舟木一夫の「高校三年生」「赤い夕日が校舎を染めて：ぼくら 離れ離れに なるうとも クラス仲間はいつまでも」の歌が流れていました。その日から、本年度五十年の歳月を刻みました。その間、現実社会の中で、クラス五十人には様々な人生がありました。

一昨年、クラスの友人から、二十年ぶりにクラス同窓

会を開きたいと声が挙がりました。早速、私と彼でクラスの男性二十八名の全員、市原、君津、袖ヶ浦の自宅を初訪問しました。訪問の前日にごんで入院した友。行方不明二名。逝去された友五名を知りました。しかし、大手企業を退職後、地域町会長の友。元高校教師で久留里の神社宮司の友。無役職ながら大手企業で張り切っている現役の友人等々。高校時代は目立たなかった彼らが、その後社会で活躍している様子に私も励まされました。今年、担任の鈴木卓先生を囲み、最後？のクラス会を開きます。

ところで、前回の「まなびや」に寄稿して戴いた小関勇次氏(清和大学特任教授)が、昨年、市原市で開催された「更級日記千年紀フォーラム」で、魅力ある上総国府のまちを熱く語ってくださいました。小関氏は、私が二十五余年学び続けている大学の講師であり、今年キャンパスで会えるのが楽しみです。

一方、コロナ禍で、時代は大きく変化。大学等では、オンライン授業など、これまでと違う風景が、突如、眼前に現れたという印象です。これまでで慣れ親しんだ環境から、徐々に変化を受け入れ、一歩でも前向きに進んで行きたいです。

「人生の本舞台は常に将来にあり」と尾崎行雄九十五歳(憲政の神様)の言葉を胸に、私もさらに大きな夢を抱き、再び高き山に挑戦して参りたいと思います。

校長あいさつ

校長 酒井 一成



京葉高等学校同窓会名誉会長という過分な肩書きをいただいているから、まもなく三年が過ぎようとしています。

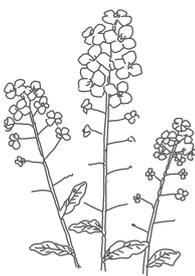
本校に赴任し最初の大仕事である入学式の式辞で、本校の卒業生は一万六千人を超え、県内外で活躍していることを誇らしい思いで新人生に伝えました。そのすばらしい先輩たちの後を、現在この学舎で懸命に自分を磨いている若者たちが追いかけてくれることを願ってやみません。

考えてみれば、これほど多くの人がひとつの学校を「母校」と呼び、集まれば顔は知らずとも、分かち合うことができる何かをもっているというの、とても不思議なことだと思えます。それなのに私たちは、せつかく与えられたその奇跡の重さを、時に忘れてしまいます。

少し前から同窓会報「まな

びや」に、本校卒業生の方々からいただいた広告が掲載されるようになっていきます。これは、単に金銭的なものにとどまらず、同窓会の持つネットワークを再確認する試みです。芸術祭、マラソン大会、お年を召した方々ならたえば白根山登山等々、懐かしい思い出を分かち合うことができる「同窓生」がそこにいます。

会長をはじめとする同窓会理事の皆さまの挑戦に心から敬意を表すると共に、この第一歩が更に発展し、皆さまの人生を更に深め、母校で頑張る後輩たちを勇気づけるものとなることを祈念いたします。



令和3年度 同窓会総会開催報告

昨年六月五日(土)に、本校大会議室に於いて、令和3年度同窓会総会を開催しました。

酒井校長をはじめとして、新國教頭、榎本顧問、小関勇次様(四十九年卒)、國吉正彦様(五十年卒)にもご参加頂きました。役員は十二名が参加しました。

総会では事業報告・事業計画・会計関係・会則と予定された議案は全て承認されました。下欄に資料を提示しておりますので、ご覧下さい。

今年度の入学生はクラス定員を充足することができなかつたことを受け、生徒募集につながる目的で、校内理事の依頼により、制服のミニチュアと校名の入ったシャーパーペンシルを同窓会の学費補助費で作成して頂きました。いずれも夏休みに行われた中学生の体験入学や学校説明会で活用させて頂きました。今まででなかつた取り組みにより、少しでも地域の中学生が本校に目を向けてくれるきっかけになればと思っています。

(杉田 俊幸)

令和2年度 事業報告

令和2年
4月7日(火) 第58回入学式
5月18日(月) 第1回学校運営協議会 書面開催
6月18日(木) 第1回役員会
7月18日(土) 令和2年度同窓会総会・懇親会
10月14日(水) 第2回学校運営協議会 令和2年度千葉県立京葉高等学校ミニ集会
11月12日(木) 第2回役員会 (会報「まなびや」編集会議)
令和3年
1月11日(月) 会報「まなびや」第35号校正作業
1月20日(水) 第3回学校運営協議会 書面開催
2月18日(木) 第3回役員会 卒業記念品準備・同窓会表彰者認定
3月5日(金) 同窓会入会式(校内理事のみ担当) 記念品贈呈・同窓会表彰・新理事9名委嘱 会報「まなびや」第35号発行
3月6日(土) 第56回卒業式
3月30日(火) 会報「まなびや」第35号発送作業

令和2年度 収支決算報告

【収入の部】 自:令和2年4月1日 至:令和3年3月31日 (単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残額	備考
前年度繰越金	517,661	517,661	0	元年度よりの繰越金
会費	554,400	554,400	0	2年度卒業生(154名@3,600)
雑収入	100,009	100,004	△5	同窓会報告協賛(100,000円)、利息(4円)
合計	1,172,070	1,172,065	△5	

【支出の部】

項目	予算額	決算額	予算残額	備考
事務費	60,000	4,760	55,240	会報発送用封筒・コピー用紙等
会議費	60,000	21,000	39,000	総会・諸会議費等
慶弔費	30,000	17,050	12,950	生花代(松本 茂顧問)
通信費	150,000	101,152	48,848	連絡用ハガキ・まなびや発送切手代
部会活動費	120,000	94,600	25,400	会報「まなびや」第35号印刷代
生徒援助費	450,000	176,110	273,890	卒業記念品代・同窓会表彰経費
積立金	100,000	100,000	0	
予備費	202,070	0	202,070	
合計	1,172,070	514,672	657,398	

収入決算額1,172,065円・支出決算額514,672円・残高657,393円(翌年へ繰り越し)上記のとおり収支決算をご報告いたします。

千葉県立京葉高等学校 同窓会会計 杉田 俊幸

令和3年5月11日

監査の結果、適正であることを認めます。

会計監査 高橋 一成
川口 聖子

令和2年度末 積立金会計報告

同窓会定期3682813(平成25年度末に一本化された定期口座)

前年度末累計額	前年度支出額	本年度積立金	利息	本年度累計額
4,020,296円	0円	100,000円	343円	4,120,639円

上記のとおり積立金会計をご報告いたします。

千葉県立京葉高等学校 同窓会会計 杉田 俊幸

令和3年5月11日

監査の結果、適正であることを認めます。

会計監査 高橋 一成
川口 聖子

令和3年度 事業計画

令和3年
4月7日(水) 第59回入学式
5月13日(木) 第1回役員会
5月19日(水) 第1回学校運営協議会
6月5日(土) 令和3年度同窓会総会
10月13日(水) 第2回学校運営協議会 令和3年度千葉県立京葉高等学校ミニ集会
11月中旬 第2回役員会 (会報「まなびや」編集会議)
12月下旬 会報「まなびや」第36号校正作業
令和4年
1月19日(水) 第3回学校運営協議会
2月下旬 第3回役員会 卒業記念品準備・同窓会表彰者認定 会報「まなびや」第36号発行
3月7日(金) 同窓会入会式 記念品贈呈・同窓会表彰・新理事9名委嘱
3月8日(火) 第57回卒業式
3月中旬 会報「まなびや」第36号発送作業

令和3年度 予算

【収入の部】 自:令和3年4月1日 至:令和4年3月31日 (単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	657,393	517,661	139,732	2年度よりの繰越金
会費	576,000	554,400	21,600	令和3年度卒業生(160名@3,600)
雑収入	100,007	100,009	△2	預金利息および同窓会報告協賛
合計	1,333,400	1,172,070	161,330	

【支出の部】

項目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
事務費	60,000	60,000	0	事務用消耗品等
会議費	60,000	60,000	0	総会・諸会議費等
慶弔費	30,000	30,000	0	
通信費	150,000	150,000	0	連絡用ハガキ・切手代
部会活動費	120,000	120,000	0	会報「まなびや」第36号印刷代等
生徒援助費	400,000	400,000	0	部活動支援金・卒業記念品代・同窓会表彰経費等
学校援助費	350,000	0	350,000	制服フィギュア作成費 宣伝用ボールペン作成費
積立金	100,000	100,000	0	
予備費	63,400	202,070	△138,670	
合計	1,333,400	1,122,070	211,330	

令和二年度 進路状況について

進路指導主事 杉田 俊幸

★令和2年度最終進路状況

令和3年3月卒業生(令和2年度154名)の最終進路

状況は次の通りです。四年制大学への進学者は42名で、その内訳は一般選抜が8名、指定校推薦が21名、公募推薦が2名、総合型選抜が11名でした。大学進学者数は昨年度とほぼ同じですが、一般選抜受験者が大幅に増え、他校でも多くの生徒が指定校推薦や総合型選抜に流れる傾向がありました。最後まであきらめなかった生徒の多くが希望の大学に合格することができました。大学側は他校を含め、複数合格している受験生の入学希望数を読めず、かなりの数の補欠合格者を出したのが今回の入試の特徴でした。

本校でもその好例として、近年一般選抜での合格者が出なかった大学に複数名合格者が出ました。日本大学法学部、専修大学国際コミュニケーション学部、駒澤大学法学部、清泉女子大学文学部、国士館

大学体育学部、日本体育大学スポーツ文化学部、明海大学外国語学部等が挙げられます。短大へは4名が進学しました。4名とも指定校もしくは自己推薦での合格でした。

専門学校へは70名が進学しました。そのうち看護医療系へは17名と例年通りの人気の高さが見受けられます。特に看護専門学校は試験が簡単ではなく、何校も受験し、ようやく合格を勝ち取った生徒が少なくありませんでした。

就職した生徒は35名で、公務員が2名、民間が33名でした。昨年度よりも8名就職者数が増えました。コロナ禍もあってか公務員は狭き門でしたが、民間企業に就職を希望した生徒は、今年も全員合格することができました。

進路未決定者は3名で、うち1名が進学浪人でした。最終進路決定率は98・1%でした。

いずれの進路を選ぶにしても1年生の時から基礎学力の養成と面接でアピールできることを受験までに取り組むこと、そしてそのことを伝えるコミュニケーション能力が

必要不可欠であるということ念頭において学校生活を送ることが大切です。分野ごとの主な進路先は次の通りです。

【四年制大学】42名

神田外語大学、国士館大学、秀明大学、淑徳大学、城西国際大学、聖徳大学、専修大学、千葉科学大学、千葉経済大学、千葉工業大学、千葉商科大学、帝京平成大学、東京国際大学、東京情報大学、東京聖栄大学、二松学舎大学、日本大学、日本体育大学、福井工業大学、明海大学

【短期大学等】4名

昭和学院短期大学、千葉経済大学短期大学部、千葉明德短期大学、日本大学短期大学部

【看護医療系専門学校】17名

亀田医療技術専門学校、関東鍼灸専門学校、北原学院千葉歯科衛生専門学校、君津中央病院附属看護専門学校、国際医療福祉専門学校、千葉医療福祉専門学校、千葉中央看護専門学校、八千代リハビリテーション学院、了徳寺学園医療専門学校

【専修学校等】53名

アイエスティック専門学校、大原医療保育福祉専門学校、大原簿記公務員専門学校千葉校、神田外語学院、国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校、ジェイエイハアメイック専門学校、専門学校ちば愛犬動物フラワー学園、千葉医療秘書専門学校、千葉県自動車整備専門学校、千葉調理師専門学校、千葉リゾート

&スポーツ専門学校、つくば成田航空専門学校、東京IT会計法律専門学校、東京YMCA国際ホテル専門学校、東京工科大学自動車専門学校、東京ベルエポック美容専門学校、東放学園音楽専門学校、東洋理容美容専門学校、日本芸術専門学校、日本工学院専門学校、文化服装学院、HAL東京、ハッピー製菓調理師専門学校、読売理工医療福祉専門学校、エコール辻東京、総合学園ヒューマンアカデミー

【公務員】2名

千葉県庁、千葉県警察官

【民間企業】33名

AGC(株)千葉工場、浅上重機作業(株)千葉事業所、麻痺興産(株)、市原市農業協同組合、(株)電洋社、(株)トルエクスプレスジャパン、(株)出光プランテック千葉、(株)加藤板金工業、(株)しげのや、(株)シユモレ、(株)太平洋クラブ、(株)津田屋(イエローハット)、(株)ヤツクスケアササービス、君津市農業協同組合、千葉臨海鉄道(株)、コスモ石油(株)千葉製油所、山九千葉(株)千葉支店、三友工業(株)、センコー(株)千葉支店、ダイハツ千葉販売(株)、デンカ(株)千葉工場、東京地下鉄(株)(東京メトロ)、東光石油(株)、日本製鉄(株)東日本製鉄所君津地区、日本曹達(株)千葉工場、藤田観光リゾート開発(株)カメリアヒルズカントリー倶楽部、古河電気工業(株)千葉事業所、マルサン重機建設(株)パシフィックゴルフマネージメント(株)ムーンレイクゴルフクラブ、鶴舞コース

【進路未決定】3名

同窓会役員紹介

名譽会長(校長)	顧問(旧職員)	会長	副会長	会計事務局長	会計監査	事務局次長	事務局長	書記	総務理事
酒井一成	飯高和子	41 國吉成昭	41 榎本悦	45 小宮修二	42 高山良明	46 元廣悟	50 三枝頼子	52 御園生文雄	53 金子哲也
57 杉田俊幸	57 高橋一成	58 川口聖子	54 高山直	57 志賀智	57 田澤義一	60 黒須紀男	60 宍倉慎二	54 菊岡多鶴子	56 高澤真
58 石井修	58 松崎幸弥	60 岡本均	62 田中恵美	62 岩上真弓	10 只限修一	17 大野佳佑	19 高野越志	28 皆川真琴	

数字は卒業年 ★印は校内理事

令和2年度 定期人事異動により転出された先生方

職名	教科等	転出者氏名	転勤先	職名	教科等	転出者氏名	転勤先
教諭再任	地歴公民	松延 利秀	再任用終了・退職	臨任講師	国語	皆川 真琴	木更津東定時制
教諭	地歴公民	永野 裕基	千葉女子	臨任講師	理科	田中 尚貴	袖ヶ浦
教諭	理科	三沢 永一	市立船橋	臨任講師	保健体育	小川 亮平	退職
教諭	芸術	米山 茂	富里	養護臨任講師		小笠原 葵	退職
教諭	英語	菊池 嘉子	定年退職	事務長		西山 麻子	桜ヶ丘特別支援学校
実習助手		堀越 茜	銚子商業	主事		石川 拓郎	市原・市原特別支援学校

母校に勤務して

皆川 真琴



私は昨年度、京葉高校に勤務させていただきました。今年度からは、新しい学校で勤務になりましたが、離れてみると改めて京葉高校の良さを感じることが多くありました。

私が一年間、京葉高校に勤務させていたでいて、特に印象に残っていることは、先生方の影での努力の凄さです。生徒の頃から京葉高校の特色は、部活動や学校行事が盛ん

京葉高校に赴任して

高嶋 晴代



私は昭和六十二年三月に京葉高校を卒業したOGです。令和三年四月、母校となる京

葉高校へ赴任してまいりました。あの頃と変わらない校舎や体育館、野球部、サッカー部、ソフトボール部が活動できるとは、嬉しい限りです。ラウンドがそのまま残ってい

な所にあると思っていました。部活動や学校行事が盛んであるのは、主体である生徒が一生懸命頑張っているのが一番大きいと思います。ですが、実際に教員として勤務してみると、そういった部分の裏側には、先生方の影での支えや努力が前提にあるのをとても感じました。

昨年度の初め頃は、新型コロナウイルスの影響もあり、部活動や学校行事等、例年通りでの実施が難しい状況でした。生徒が休校期間中、先生方がなんとしても生徒達に部活動や学校行事をやらせてあ

げたいと何度も職員会議をしたことは、今でもとても印象に残っています。私は生徒の頃、先生方が生徒達の為に沢山支えてくださったのを分かっていたと思っていました。ですが、実際に自分の目で見てみると、先生方の影での支えや努力は自分の想像以上のものでした。自分が生徒の頃、何気なく楽しんでいた学校生活には、こんなにも多くの先生方の思いや影での支えがあったのだと改めて実感しました。

教員をしていれば、このようになことに気付くのは、当然

り前のことなのかもしれません。ですが、このようなことを教員として一年目に、最初に母校で気付くことが出来たのは、私にとって、とても大きな意味がありました。

生徒の皆さんが今楽しめている学校生活の裏側には、多くの先生方の支えや努力、様々な思いが沢山詰まっています。今在籍している京葉高校生の皆さんには、担任の先生や部活動の先生、授業担当の先生等、先生方に感謝の気持ちをお忘れしないで欲しいと思います。一年間、本当に有り難うございました。

てとても懐かしいです。女子の制服も私の頃と同じで、黒い制服を「カラスみたいでかわいくないよ」など友人と話していたことを思い出しました。しかし何十年と変わらな

い学校や制服に伝統を感じています。校舎や制服だけでなく、学校行事も残っていました。市原市民会館で歌う芸術祭(前は合唱祭?)や京葉祭文化の部(今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止)をはじめ、陸上グラウ

ンドを使って体育の部。体育祭はコロナ感染防止対策で縮小しましたが実施できました。私が高校生の時は、一・二・三年生縦割りで色別対抗戦は八色あり、応援団のパフォーマンスも圧巻でした。そして、学校外へ出て梨畑に囲まれて走るマラソン大会もいまだに続いていることに驚いています。楽しかった高校生にタイムスリップしているようです。しかし、昔と違って、生徒数が減り、学級数も減って



京葉 回顧録

高澤 真

Makoto Takazawa

昭和五十六年卒、令和四年に還暦を迎える学年です。諸先輩の多い中、僭越ですが自己紹介と思いつきなど書き綴りたいと思います。

現在、東京神田にある東湘物産株式会社の取締役をしながら、市原市下矢田の実家を活動拠点に、ちば里山・バイオマス協議会の代表をしています。実業の方はプラスチックの素材を扱う商社・貿易の仕事を中心として控えています。

一方、市原市が令和三年に採択されたSDGs未来都市に象徴される、持続可能な社会に向けての取り組みを実践しています。私は二〇一三年に日本で初めて畑で農業と太陽光発電を同時に行うことを可能にしたソーラーシェア



リング上総鶴舞を稼働させました。このことがマスコミに取り上げられて真剣に環境問題に関わることになりました。二〇一九年九月に台風被害を受けた後、里山活動のスキルで復興活動を行いました。長南町、いすみ市、大多喜町まで広域の活動団体と協力し、また高校や幼稚園ともご縁をもちながら活動したことで二〇二〇年一二月にちばコラボ大賞、千葉県知事表彰を受けました。竹林を整備し、春に大きくなったタケノコからメンマを作り「房の駅」で販売する事業もしています。地域の活動としては市原市倫理法人会の会長もしています。

自己紹介が長くなりましたが、高校時代の思い出は体育の授業と修学旅行です。長瀧先生、小嶋先生、女子は畠山芳子先生、一生頑張れる体力を養っていただきました。修学旅行では広島、萩・津和野をめぐり、私は大学卒業後の仕事に旅行会社を選びましたが、この時の旅が教えてくれた歴史やふれあいは後の人生に大きな影響を与えています。

ご案内

「まなびや」で同窓会の開催案内や開催報告をしませんか？ご希望の方は是非事務局までご連絡下さい。今回同封の広告に協賛頂ける個人、企業様も募集しております。ご協力頂いた協賛金は同窓会費として同窓会活動および現役生のために活用させていただきます。「まなびや」を通して京葉生のネットワークを広げて行きましょう。

令和二年度 同窓会表彰



感染症対策の関係で同窓会入会式は校内理事の教員と卒業生のみで行われました。令和二年度の卒業生のうち、以下の一〇名の者を同窓会表彰とし、記念品(高級ペンセット)を贈呈しました。おめでとうございます。

- *十二ヶ年皆勤
 - A組 霞 衣利
 - A組 川名 璃空
 - A組 吉田 聖弥
- *第66回関東高等学校剣道大会
 - 女子団体戦出場
 - B組 石塚 朋美
 - D組 廣原 果林

- *第35回関東高等学校囲碁選手権大会
 - 団体戦5位入賞・個人戦出場
 - A組 国本 千菜
 - A組 川口明日香
 - A組 内藤優梨花

- *平成30年度JOCジュニアオリンピック杯
 - 第37回全国高等学校アーチェリー選抜大会 ミックス戦
 - B組 小幡 愛里
- *令和元年度全国高等学校総合体育大会
 - アーチェリー競技大会
 - 男子個人の部5位入賞
 - D組 伊藤 誠一



県総体・ウィンターカップでベスト8

バスケットボール部 部長 三年 平井 真拓

京葉高校バスケットボール部に入学し、顧問の先生やチームメイトと一緒に練習に励んできました。

上級生が引退し、自分たちの代では県大会ベスト4を目標にしました。練習や練習試合で失敗や問題を解決しながら最初の大会・新人戦に臨みました。地区一、二回戦、準決勝までは自分たちのペースで試合を行う事で勝利を重ねる事ができましたが、決勝では接戦の末に負けてしまいました。この結果を受け止め、チーム全員でどうやったら勝てるのか、何が悪かったのかを話し合いながら改善できるように日々の練習に励みました。以前よりも練習はハードになりましたが、チーム全体で声を掛け合いながら盛り上げ、質の良い練習を目指し、取り組みました。

三年生になって臨んだ最初の春の大会も順調に勝ち上がり、地区決勝戦では新人戦と同じく



拓大紅陵高校と対戦しました。自分たちがやってきたことを信じ、強い気持ちで試合に臨んだ結果勝利することができ、地区優勝することができました。自分たちの代で初めて優勝することができてとても嬉しかったです。

総合体育大会では、この大会で引退してしまう同級生も多く居ることが分かっていたので、三年間やってきたことを全

縁は異なるもの乙なもの

史大学園 志高幼稚園 教諭 根本 愛理朱
平成三十一年三月卒

「縁は異なるもの味なもの」とは、男女の機微を表す言葉ですが、私は、今年度就職した職場で、人の出会いの不思議さを「乙なもの」と感じています。

高校在学中の一番の思い出は、芸術祭で二年間ベストピアノスト賞を獲ったことと、吹奏楽部のトランペッターの伴奏を務め、

て出し切り、悔いなく終えられるように頑張りました。その結果、自分達らしいバスケットができて、歴代の先輩方が達成できなかったベスト8に入る事ができました。準々決勝で負けたくない、目標であるベスト4にあと一歩届きませんでした。引退する同級生と笑顔で終われて良かったです。

ウィンターカップ予選では、三年生五人という少ない人数で高校生活最後の大会に三年間の集大成として臨みました。結果は準々決勝で敗退、二大会連続ベスト8、目標のベスト4には届かなかつたですが、最後まで諦めない姿勢を一、二年生に伝えることができたと思っています。本当に部活動は私の宝物となりました。

彼女がソロコンテストで、金賞を獲ったこと、先生方が皆優しく面白かったことです。

先輩の永野千春先生も京葉の卒業生で、一番の思い出は、吹奏楽部の部長として、定期コンサートやマーチング大会に向けて練習した日々だそうです。送迎バスの運転手の濱田勉さん

んは会社員、国家公務員を経て定年退職後に就職したそうです。一番の思い出は、三年間青春を燃やしたバスケットボール部で、部長として、厳しい先輩、優しい上級生、頼もしい後輩と楽しく過ごし、顧問の本吉先生が父親のようだったことです。御園生文雄園長とは、教育実習で出会った時、「はっ」としました。高校在学中の校長先生で、京葉出身と聞いていたからです。私は実習後、縁有って本園に採用となりました。

一番の思い出は、学校新聞作り、京葉祭で先輩と演じたカンフー活劇、英語の長島、日本史の佐瀬の両先生との真剣勝負の授業だそうです。

私達から後輩へのメッセージは、「後悔しないために、自分の好きなことに打ち込むこと」、「夢に向かってチャレンジすること」、保育ボランティア募集中。以上です。

濱田 勉さん 根本愛理朱さん
御園生文雄さん 永野千春さん



編集後記

昨年の三月に定年退職をしました。一般の企業と違い還暦になった年度末に退職を迎えます。コロナ禍の中飲み会は有りませんが職場の皆さんが心温まる退職の会を開催してくれました。母校での退職でもあったので感無量です。相変わらず新型コロナウイルス感染のニュースが報道されていますが、先日、二年生が修学旅行から帰ってきました。予定変更やら試行錯誤しながらの実施でしたが出来て良かったと本当に思います。これから京葉高校を卒業していく未だある若者達にとって「夢溢れる世の中」になって欲しいと願い、祈るばかりです。

高山 直

発行責任者

同窓会長 小宮 修二

発行所

〒290-0034 市原市島野222

千葉県立京葉高等学校同窓会

TEL 0436-22-2196